

1-1. 鎌倉市 防災情報ハンドブックの目的

この『鎌倉市防災情報ハンドブック』は、神奈川県、本市による最新の知見の災害ハザード情報意識の向上と自助・共助による防災体制の強化等に利用していただくことを目的としています。

この『鎌倉市防災情報ハンドブック』を「災害の備え」のツールとして、家庭や地域における

この『鎌倉市防災情報ハンドブック』は、土砂災害ハザードマップ（土砂災害特別警戒区域の新たに追加・更新しています。

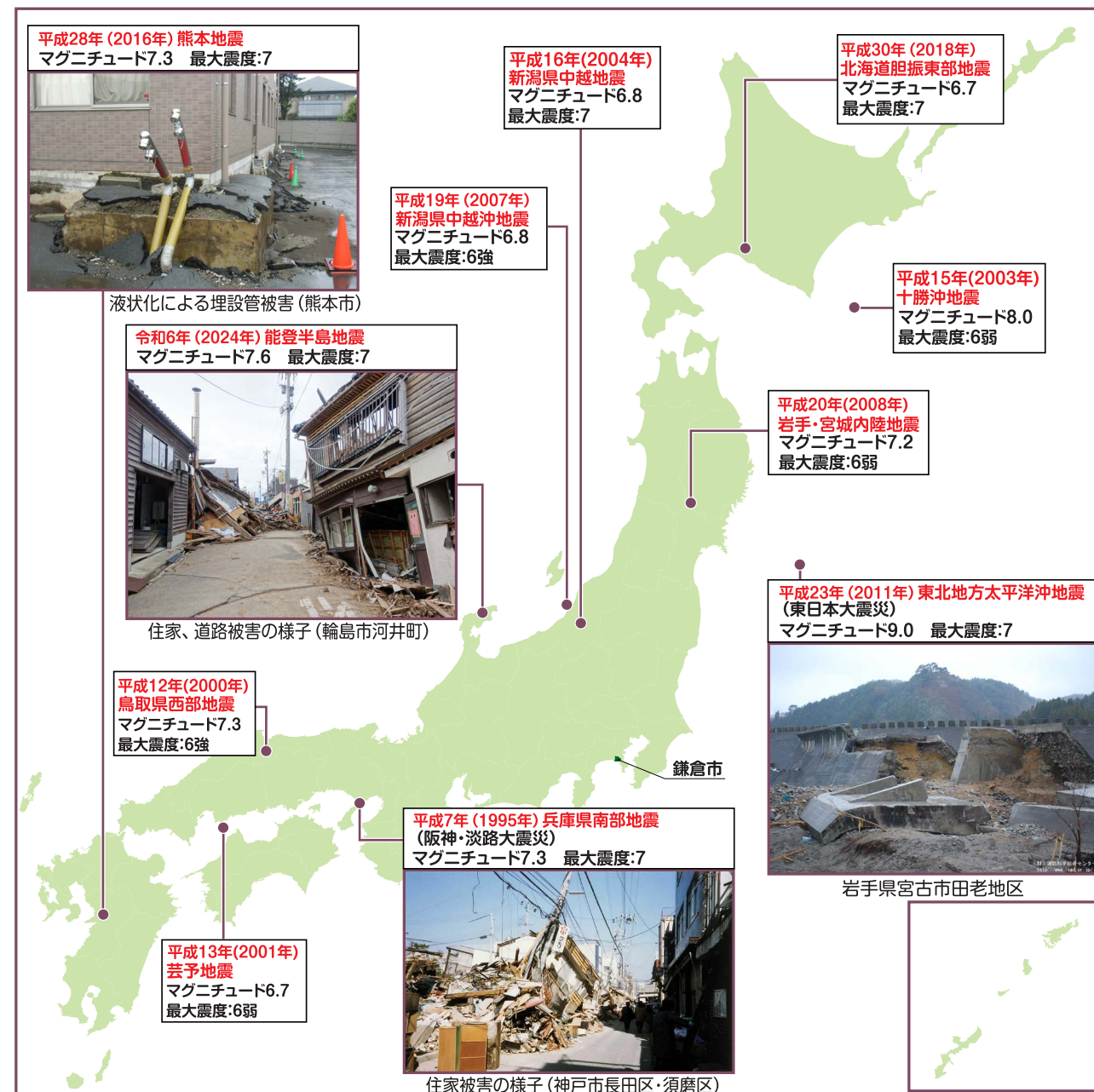
を取り込み、災害への備え、情報収集、避難行動のとり方等について掲載し、市民の皆様の防災

防災力の向上にお役立てください。

更新)、洪水ハザードマップ（市管理河川の浸水想定区域の追加）、高潮ハザードマップを

地震・津波

四半世紀前に発生した阪神・淡路大震災以降、全国各地で大きな地震が発生し、甚大な被害が発生しています。本市では、一例として「相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）」や「元禄関東地震タイプと国府津―松田断層帯地震の連動地震」などの地震の津波により、浸水被害が起こることが想定されています。



・災害写真出典：財団法人消防科学センター ・能登半島地震写真出典：令和6年能登半島地震アーカイブ／提供_石川県 <https://noto-archive.pref.ishikawa.lg.jp/>

風水害・土砂災害

平成25年8月より「特別警報」の発表が開始されて以降、平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風により、広範囲で「特別警報」が発表され、全国各地で甚大な被害が発生しています。台風の経路や前線の停滞などにより、本市でも大雨や高潮による被害が発生する場合があります。

本市における風水害・土砂災害の被害状況

